

2023年度 日本工学院専門学校											
声優・演劇科											
作品研究Ⅱ											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	選択	種別	講義	時間数	40	単位	2
担当教員	宮下明日香・平野真悟 佐々木彩・成田漣			実務 経験	有	職種	演劇制作、俳優、声優、タレントマネジメント				
担当教員紹介											
日本テレビエンタープライズにて、イベント制作・中継を担当。 AM・FMでラジオ番組全般を担当。											
授業概要											
映画、舞台、TVドラマ等の作品を上映、作品を理解する上でのポイントを解説し毎回取り扱った作品についてのレポートを提出する。上映作品はカテゴリーにより 1～4作品程度を上映し、テーマが近いものや同一人物が違う作品に出演するなど作品を比較し演出方法、演技手法、監督や演出家、表現形態等、様々な視点から作品を読みとり解説する。また、学外で作品を観る機会を作り実際作品に関わった人物の講演を実施する。											
到達目標											
・ 作品に対して自身の意見を持てるようになる。 ・ 自分ならどう演じるか想像できる力をつける。 ・ 自身が演じるのに適性が高いキャラクターを見極める力をつける。 ・ 構成、展開、演出、脚色、翻案等、作り手の意図を理解、推測する力をつける。 ※上要素を総合し作品（台本）からのメッセージを受け演技者の役割を認識し意思を持った表現を意識できるようになる											
授業方法											
毎回授業にて資料を配布、視聴し、解説を行う。											
成績評価方法											
レポート	50%	内容、意見により評価									小テスト
スト	20%	理解度より評価									
平常点	30%	積極的な授業参加、授業態度によって評価									
履修上の注意											
監督、演出家、脚本家、俳優、声優など学外の方の講義は先方のスケジュールに合わせることもある為、予定されている授業が入れ替わることがある。 授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う											
回数	授業計画										
第1回	舞台① 現代と社会との関連性の考察										
第2回	舞台② 現代と社会との関連性の考察										
第3回	舞台③ 現代と社会との関連性の考察										
第4回	舞台④ 現代と社会との関連性の考察										
第5回	俳優講演 「台本を読み解く」										

2023年度 日本工学院専門学校	
声優・演劇科	
作品研究Ⅱ	
第6回	ミュージカル① ウェストエンド作品の考察
第7回	ミュージカル② ウェストエンド作品の考察
第8回	ミュージカル③ ブロードウェー作品の考察
第9回	ミュージカル④ ブロードウェー作品の考察
第10回	洋画の字幕とアフレコ①
第11回	洋画の字幕とアフレコ②
第12回	洋画の字幕とアフレコ③
第13回	洋画の字幕とアフレコ④
第14回	声優講演